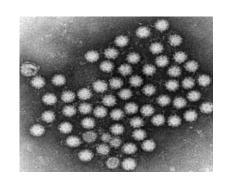
「ノロウイルスが流行する前に!見直してみよう感染予防技術」

~個人防護具の着脱、吐物処理、手指衛生の実践編~

【開催日時】 12月2日(金) 15:00 ~ 16:30

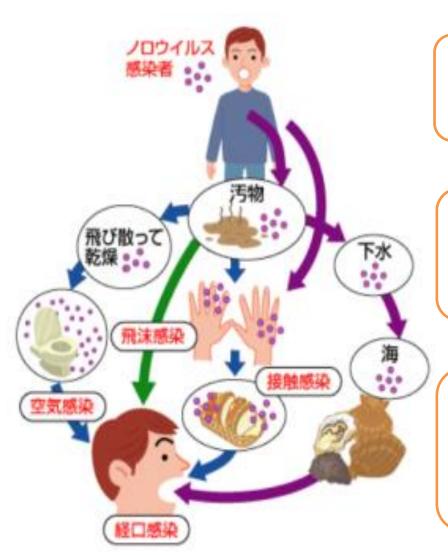
【開催場所】 NOSAI福井 大会議室

ノロウイルスの特徴



- ①感染力が強い
- ⇒たった10個~100個のウイルス粒子で感染することがある!
- ②便や吐物に多量に含まれる
- ⇒便1g中に1億個以上、吐物1g中に100万個以上も存在する!
- ③症状が消失した後も排出されている
- ⇒ 症状消失後であっても10~30日間ウイルスの排出が続く
- 4アルコールが効きにくい

ノロウイルスの感染経路



接触感染とは

ノロウイルスで汚染された 手指・衣服・物品を触ることで感染

経口感染とは

ノロウイルスに汚染された物を食べることで 感染(食中毒)

空気感染・飛沫感染とは

床などに飛び散った吐物や下痢便が乾燥し、 舞い上がった粒子を吸い込むことで感染

ノロウイルスの予防

手指衛生(手洗い)



食べ物の加熱処理 (中心温度85-90℃ 90秒以上)



日々の環境整備



正しい方法での吐物処理



ノロウイルスに効果がある消毒方法

次亜塩素酸ナトリウム

加熱85℃ 1分以上



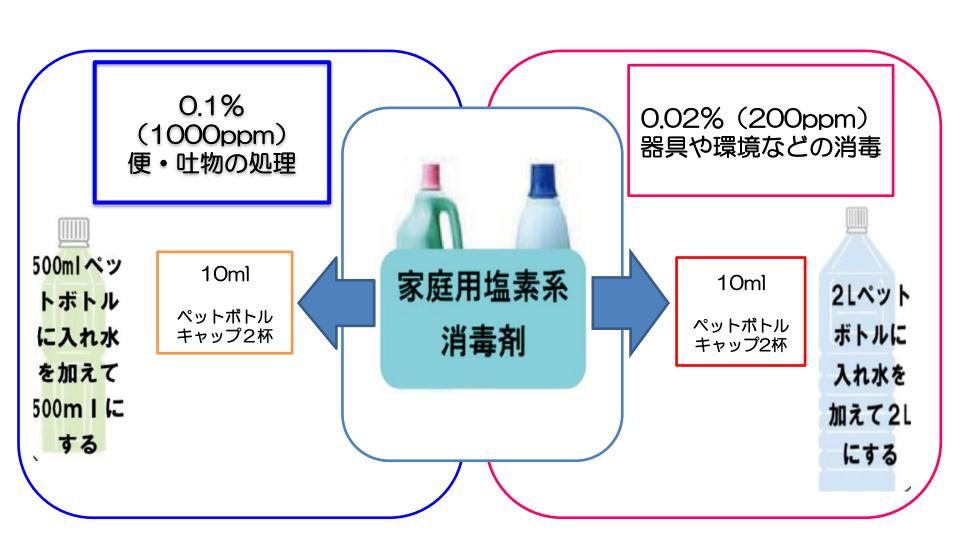






※ 低:120°C

消毒液のつくり方



ペットボトル活用時の注意点







- *内容物を表示する。
- *遮光する。
- *24時間ごとに更新する。

室内で子供たち数人が遊んでいる中で1人の子供が急に嘔吐しました!

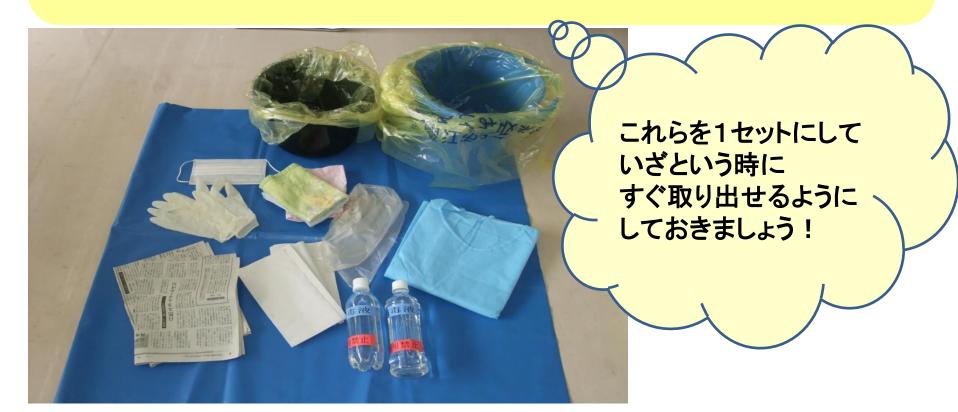
遊んでいたおもちゃ、近くにいた数人の子供たちにも吐物がかかったようです。

さあ、どうしますか?

①吐物処理セットを持って現場へ駆けつける

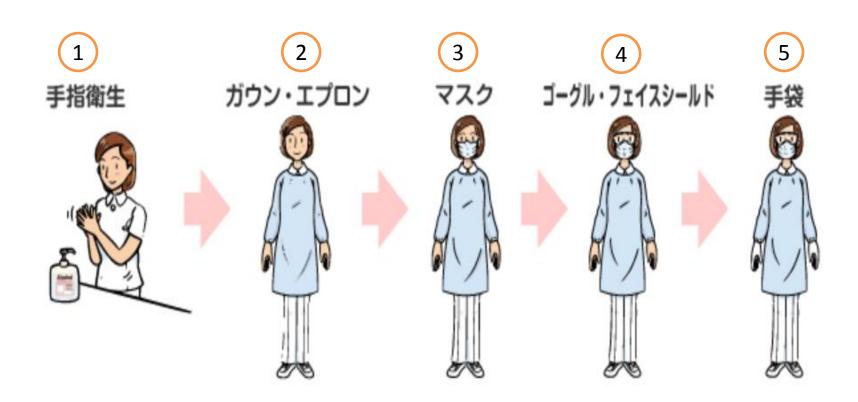
<必要物品>

使い捨ての手袋(2組)・マスク・エプロン、ペーパータオルや新聞紙、 ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム(0.1%) 専用バケツなど



【参考】丹南健康福祉センター

②防護具を正しい順序で着用する



防護具の正しい着用方法

エプロン









腰ひもを後ろで結ぶ

マスク



ノーズピースに折り目を つける



ゴムひもを耳にかける



ノーズピースを顔の形に 合わせる

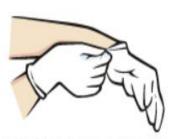


蛇腹を伸ばし鼻と口を

手袋



手袋の手首の部分を つかんではめます



反対の手も同様にはめます

こんなマスクの付け方をしていませんか?



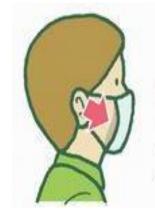
鼻がかくれて いない



あごに引っか かっている



あごが覆われて いない



ほおとマスクの 間にすきまが できる

③吐物の飛散防止

※吐物処理と子供の対応に分ける

- 1.周りの子供達を遠ざける(又は別室へ案内する)
- 2.嘔吐した子供・吐物がかかった子供の洋服を着替えさせる
- 3.子供に手洗いをさせる
- 4.吐物処理を開始する ※できれば2.3と同時進行がよい
- 5.吐物のかかったおもちゃを回収し洗浄・消毒を行う
- ※換気をする場合は、他の子供達のいる部屋のドアを閉める

吐物処理の手順



吐物を入れる袋を2枚口を開いて準備する。 吐物を新聞紙等で覆う。



周辺より中心に向かって 押し集め、袋に入れる。



吐物を取り除いたら袋の口を閉め、2枚目の袋に入れる。※空気は抜かない手袋を交換する。



新聞紙を広げ、上から 0.1%消毒薬を全体にかけ 10分放置する。



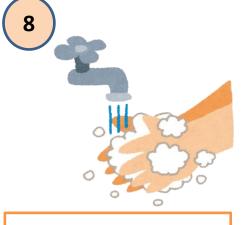
周辺より中心に向かって 押し集め、袋に入れる。 ※空気は抜かない



使い捨ての布やペーパーに0.1%消毒薬を浸し床を 広範囲に拭く。同じ場所を 往復して拭かない。

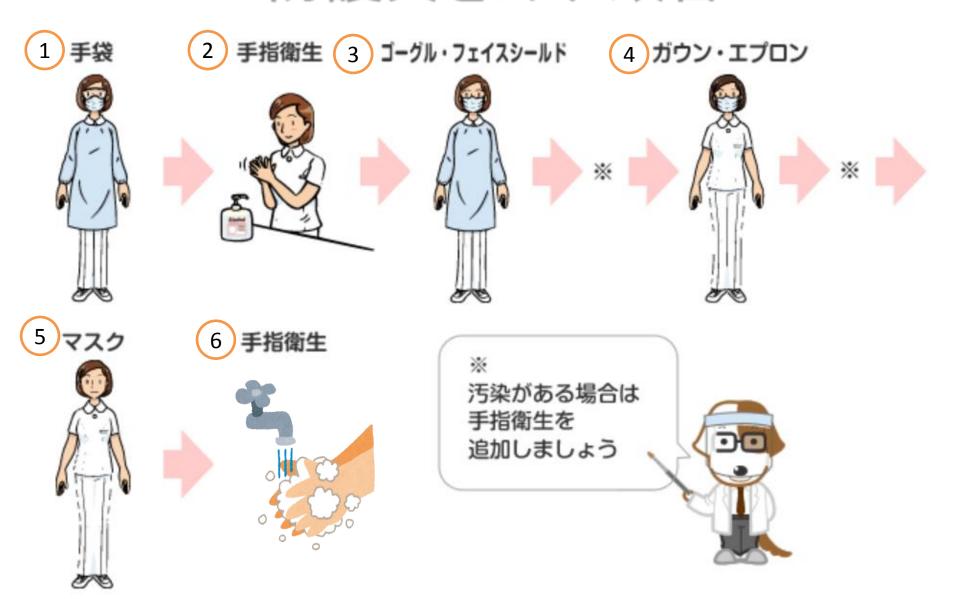


個人防護具を①手袋② ガウン③マスクの順に外 し袋の口を閉める。

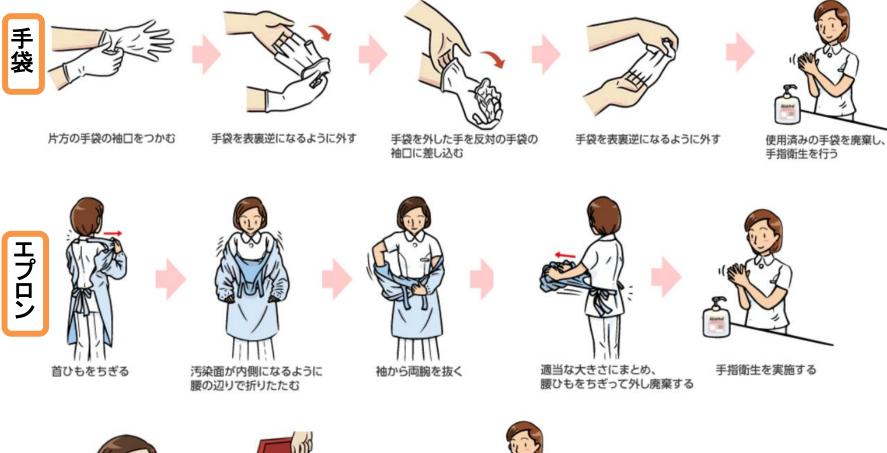


流水による手洗いを 実施する。

防護具を外す順番

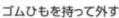


防護具の正しい外し方











マスクを廃棄し手指衛生を行う





手指衛生を実施する



おもちゃの処理





注)水の中で処理

0.02% (200ppm) 家庭用塩素系 消毒剤 水2L 10ml ②消毒液に30分以上浸漬

手洗い の手順





まず手指を 流水でぬらす



② 石けん液を適量 手の平に取り出す



③ 手の平と手の平を すり合わせ よく泡立てる





指を組んで両手の 指の間をもみ洗う



親指をもう片方の 手で包みもみ洗う (両手)



指先をもう片方の 手の平でもみ洗う (両手)



両手首まで ていねいにもみ洗う



₩ 流水でよくすすぐ



ベーバータオルでよく水気をふき取る

洗い残しの多い部位

